

ヘルスケア材料の有効性評価に役立つ顕微鏡画像の活用法

日時

2020年2月4日(火) 13:30~17:00

2020年2月5日(水) 13:30~17:00 ※同一内容で2回開催

場所

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター(本部)

東京都江東区青海2-4-10

●ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前

●りんかい線「東京レポート」駅下車 徒歩15分 [朝夕無料送迎バスあり]

都営バス海01 テレコムセンター駅前下車

受講料

無料

ヘルスケア製品や原料の開発にかかわる方に

製品開発の過程で顕微鏡観察データをどのように活用すればよいか?このようなお悩みを抱える方のヒントになるような顕微鏡観察技術とその活用に関する講習会を開催します。粒子の形状や大きさを観察するだけではなく、目的に応じて光学顕微鏡や電子顕微鏡を使い分けることで製品開発の幅が広がります。例えば蛍光観察を用いれば、マイクロ粒子への有効成分の内包を可視化することができますし、走査電子顕微鏡観察と元素分析を組み合わせればサンスクリーンなどの塗布性を評価できます。本講習では、都産技研の機器と評価事例を中心に、ヘルスケア材料の有効性評価に役立つ技術について解説します。

講座内容・スケジュール

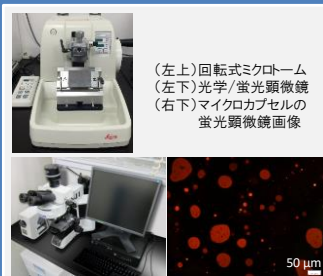
	科目	講師
13:30~16:30	<p>【講義】ヘルスケア材料の有効性評価に役立つ顕微鏡画像の活用法 ~バイオ分野で利用される観察技術を中心に~</p> <p>【実習】評価装置の紹介・観察テクニックに関する実習</p> <p>1) 液体やクリーム状試料の観察</p> <p>2) 前処理を伴う固体試料(粉体やフィルム状試料、生体組織や塗布基材など)の断面作製および観察</p> <p>●紹介する技術・サンプルの例: 光学顕微鏡、蛍光顕微鏡、共焦点レーザー蛍光顕微鏡、 走査電子顕微鏡(SEM)、マイクロトーム、エマルション、マイクロカプセル、 リポソーム、サンスクリーン</p>	<p>東京都立産業技術研究センター</p> <p>バイオ応用技術グループ</p> <p>畑山 博哉 大藪 淑美 佐野 栄宏</p>
16:30~17:00	質疑応答・アンケート	



マスコットキャラクター テリン®

定員

5名/各回



(左上)回転式マイクロトーム
(左下)光学/蛍光顕微鏡
(右下)マイクロカプセルの
蛍光顕微鏡画像